

部 局	消防局	補 職	局 長	氏 名	小 倉 博
-----	-----	-----	-----	-----	-------

1. 部局の使命

市民の生命、身体及び財産をあらゆる災害や事故等から保護するため、火災または地震等の災害による被害を軽減するほか、市民、事業者、医療機関との連携による「救命力」の向上や広域連携、消防体制の見直しによる消防力の強化を図り、安心して安全なまちづくりを推進します。

2. 使命を遂行するための取り組み方針と、それに基づく取り組みの総括 方針 取り組みの総括

方針	取り組みの総括
<p>○消防局は、応急対策を中心とした防災を担う行政機関として、消防車両や消防水利などの防災基盤の整備を図り、消防力の確保と救命力世界一の推進など、豊中市にふさわしい市民サービスが提供できるよう取り組みます。</p> <p>○火災予防体制の充実と自主救護能力の向上を図り、災害に強いまちづくりを推進します。</p> <p>○上記取り組みを効果的に実現するため、消防の広域連携及び人材育成に関する取り組みを推進します。</p>	<p>【今年度末に記載】</p>

3. 当年度目標と目標設定に対する振り返り等

No	当年度目標(当初設定)	実績	
	取組み事項及びその内容・スケジュール	取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性
1	<p>消防の広域連携の推進【重点】</p> <p>(1) 豊中市、吹田市、池田市、箕面市、摂津市消防通信指令事務協議会による北大阪消防指令センターの共同運用及び能勢町消防事務の受託について、計画等に基づき業務を遂行するとともに、近隣市町と消防の広域連携について検討を進めます。これにより、相互の消防力の強化を図り、住民の安心・安全を向上させます。</p> <p>①計画等に基づく消防広域連携業務の実施及び運営管理（通年） ②近隣市町と消防広域連携について検討（通年） ③消防デジタル無線の更新について近隣市との共同整備の検討（通年）</p>	【今年度末に記載】	【今年度末に記載】
	<p>総合計画</p> <p>2-3- (2) 消防体制を充実強化します</p>		
	<p>基本政策</p> <p>23 消防救急体制の強化</p>		

No	当年度目標(当初設定)	実績	
	取組み事項及びその内容・スケジュール	取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性
2	<p>「救命力世界一」の取り組みの推進【重点】</p> <p>(1) ジュニア救命講習の全校実施やシニア救命講習を促進し、世代に合わせた受講しやすい環境作りを進め、地域に根ざした応急手当普及啓発活動を展開することにより救命手当の一層の普及に取り組み、市民の救命力を高めます。</p> <p>①ジュニア救命サポーター事業(通年)</p> <p>②市民救命サポーター制度(通年)</p> <p>③シニア救命講習の実施(通年)</p> <p>④北・南・新千里消防署による応急手当の普及啓発</p> <p>(2) 救急需要対策の推進</p> <p>①救急安心センターおおさかの利用率向上の取組み(通年)</p> <p>②救急タグとマイナ保険証を活用した救急活動の円滑化〔拡充〕(通年)</p> <p>(3) 救急隊員の教育体制の充実</p> <p>①指導救命士の指導体制の確立(通年)</p> <p>②研修体制の充実(通年)</p> <p>(4) 感染症対策</p> <p>①感染症対策資器材の整備</p> <p>②訓練、研修等による知識及び技術の習得</p> <p>(5) 「119救命サポートチーム」を中心とした、119番通報に対する心肺蘇生法などの口頭指導技術を錬磨し、更なる受信体制の充実強化に努めます。</p> <p>(6) 市立豊中病院の救急診療支援により、救急搬送の受入体制の拡充と救急救命士の技能向上を図ります。</p>	【今年度末に記載】	【今年度末に記載】
	<p>総合計画</p> <p>2-3- (1) 救急救命体制および防火安全対策を強化します</p>		
	<p>基本政策</p> <p>23 消防救急体制の強化</p>		

No	当年度目標(当初設定)	実績	
	取組み事項及びその内容・スケジュール	取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性
3	<p>地域防災力の育成による自主救護能力の向上</p> <p>(1) 自主防災組織や消防防災協力事業所等への消火・救急・救助などの訓練について、阪神淡路大震災から30年の節目の年にあたり、防災訓練ハンドブックやホームページ等での発信を効果的に活用して訓練指導を行います。</p> <p>また、身に付けた技術を組織や事業所に広めていただくことにより、南海トラフ巨大地震など大規模災害の発生時における豊中市の自主救護能力を高めるとともに新しい情報は市民に幅広く提供していきます。</p> <p>消防防災協力事業所等の訓練については、150事業所への実施、自主防災組織への訓練については、60%以上の実施率を維持します。</p> <p>①自主防災組織に対する防災訓練や指導(通年) ②消防防災協力事業所等の育成支援(通年) ③女性防火クラブの育成支援(通年) ④市民・事業者への防災普及啓発(通年)</p>	【今年度末に記載】	【今年度末に記載】
	<p>総合計画</p> <p>2-3- (1) 救急救命体制および防火安全対策を強化します</p>		
	<p>基本政策</p> <p>22 地域防災力の向上</p>		

No	当年度目標(当初設定)	実績				
	取組み事項及びその内容・スケジュール	取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性			
4	<p>警防体制の強化</p> <p>(1) 「指揮調査隊」・「特別消火隊」・「高度救助隊」・「特殊災害対策専門班」・「災害対応ドローン隊」を中心とした各分野の知識、技術の向上を図るため、年間を通じて研修、訓練を実施します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 指揮調査隊による各種訓練の企画・実施 (通年) ② 指揮調査隊による調査業務の充実強化 (通年) ③ 特別消火隊による消火技術向上のための研究や訓練 (通年) ④ 高度救助隊による救助技術向上のための研修や訓練 (通年) ⑤ 特殊災害対策専門班による部内研修や訓練 (通年) ⑥ 災害対応ドローン隊による研修や操縦訓練 (通年) <p>(2) 南海トラフ巨大地震の新被害想定が公表されたことを踏まえ、部隊間や他機関との災害対応連携を強化するため、合同研修や訓練を実施します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 指揮・救助・消火・救急の連携した研修や訓練 (通年) ② 他市消防機関との合同研修や訓練 (随時) ③ 他部局との情報共有や連携の在り方を検討 (通年) <p>(3) 消防力を強化するためのICTの活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 災害時におけるICTの活用 (通年) ② ICTを活用した情報共有 (通年) ③ ICTを活用した警防作戦室、指令室、現場指揮本部3者間の効果的な連携運用 (通年) 	<p>【今年度末に記載】</p>	<p>【今年度末に記載】</p>			
	総合計画					
	2-3- (2)			消防体制を充実強化します		
	基本政策					
23	消防救急体制の強化					

No	当年度目標(当初設定)	実績	
	取組み事項及びその内容・スケジュール	取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性
5	<p>防火対策の強化</p> <p>(1) 住宅火災による死傷者をなくすため、高齢者・福祉施設関係者への防火対策、外国人への防火・防災の普及啓発及び幼児から中学生までの防火・防災意識の普及啓発を推進するとともに、住宅用火災警報器の設置等の火災予防広報を実施します。また、消防用設備等に係る指導や査察の実施により、防火対象物、危険物施設等の防火安全対策を強化します。</p> <p>①高齢者に対する火災予防普及啓発(通年) ②福祉施設関係者に対する火災予防普及啓発(通年) ③外国人に対する防火・防災普及啓発(通年) ④幼児から中学生までの防火・防災意識の普及啓発の実施(通年) ⑤住宅用火災警報器設置促進等に係る広報(通年) ⑥消防用設備等に係る建築物の計画の審査及び消防用設備等の検査(通年) ⑦年度査察計画に基づく防火対象物、危険物施設等の査察(通年) ⑧消防法令違反のある防火対象物、危険物施設等に対する是正指導(通年) ⑨査察推進員の適正配置等、査察推進施策の実施(通年) ⑩予防関係届出等の電子申請、消防用設備等設置に係る事前相談等のICT活用の推進(通年) ⑪消防音楽隊による火災予防等広報(通年) ⑫大阪・関西万博開催期間中における火災予防広報(4/13~10/13)</p> <p>(2) 北・南・新千里消防署による地域に根差したきめ細やかな消防訓練指導や火災予防広報活動を展開し、市域内における火災の未然防止及び火災による被害の軽減を図ります。</p> <p>①消防署による消防訓練指導や火災予防広報活動(通年)</p>	【今年度末に記載】	【今年度末に記載】
	<p>総合計画</p> <p>2-3- (1) 救急救命体制および防火安全対策を強化します</p>		
	<p>基本政策</p> <p>23 消防救急体制の強化</p>		

No	当年度目標(当初設定)	実績	
	取組み事項及びその内容・スケジュール	取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性
6	<p>人づくり・組織づくり</p> <p>(1) 消防局の使命を遂行するため、「豊中市消防局人材育成実施計画」に基づき、職員を育成し、職員個々のレベルアップや士気の高揚を図るとともに、組織としての災害対応力の強化、仕事の質・成果の向上に繋がります。</p> <p>①新人職員研修・管理職養成研修(通年)</p> <p>②職場研修(通年)</p> <p>③研修機関研修(通年)</p> <p>④NATS及び都市間交流研修(通年)</p> <p>⑤各種資格取得研修(通年)</p> <p>⑥女性消防職員活躍推進の取組み(通年)</p> <p>⑦個別の事業、政策課題に対応するための部内プロジェクトチーム等の編成(適宜)</p> <p>⑧消防局人材育成実施計画等の改訂(適宜)</p> <p>⑨豊中市消防計画の改訂(適宜)</p> <p>⑩ハラスメント防止研修(通年)</p> <p>⑪安全運転管理研修(通年)</p> <p>⑫エンゲージメントを高める取組み(通年)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・優秀職員や奏功事例などに対する表彰制度の実施(定例・随時) ・部内プロジェクトチーム等に若手職員の参加 ・令和8年(2026年)市制90周年記念事業の検討〔新規〕 ・令和9年(2027年)豊中消防80周年、消防音楽隊設立50周年記念事業の検討〔新規〕 <p>⑬大阪関西万博派遣研修(4月～10月)</p> <p>(2) 各種研修の実施について、ICTの活用などデジタル・ガバメントを推進します。</p> <p>①オンライン研修(通年)</p>	【今年度末に記載】	【今年度末に記載】
	<p>総合計画</p> <p>2-3- (2) 消防体制を充実強化します</p>		
	<p>基本政策</p> <p>23 消防救急体制の強化</p>		

No	当年度目標(当初設定)	実績	
	取組み事項及びその内容・スケジュール	取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性
7	消防団の充実強化	【今年度末に記載】	【今年度末に記載】
	<p>(1) 「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律」に基づき地域に密着した災害活動を実施する消防団の活動を支援し、消防団員の確保の取組みを行うほか、消防団の装備の充実強化を図り、地域の防災力並びに災害対応力を高めます。</p> <p>①消防団活動の支援(通年)</p> <p>②消防団員の育成支援及び資機材等の整備(通年)</p> <p>③消防団屯所及び車両等の維持管理(通年)</p> <p>④大池分団屯所の建替え工事委託</p> <p>⑤消防団と消防局との合同訓練(通年)</p>		
総合計画			
	2-3- (2) 消防体制を充実強化します		
基本政策			
	22 地域防災力の向上		

No	当年度目標(当初設定)		実績	
	取組み事項及びその内容・スケジュール		取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性
8	消防拠点の再整備		【今年度末に記載】	【今年度末に記載】
	<p>(1) 各消防署及び消防出張所について、計画的に必要な改修や設備の更新を行うことにより、防災拠点としての機能強化及び消防活動の充実強化を図ります。</p> <p>①消防拠点再整備について関係部局と調整(通年)</p> <p>②消防庁舎改修について関係部局と調整(通年)</p> <p>③施設環境の改善(浴室、トイレ等)(通年)</p> <p>④消防施設感染防止対策工事の実施(4月～10月)</p>			
総合計画				
	2-3-	(2) 消防体制を充実強化します		
基本政策				
	23	消防救急体制の強化		

No	当年度目標(当初設定)	実績	
	取組み事項及びその内容・スケジュール	取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性
9	<p>変革への取組み</p> <p>(1) 現在、箕面市と実施しているはしご車の共同運用について他市と拡充して実施(令和10年度(2028年度))することによりはしご車の更新整備費に緊急防災減災事業債を活用します。</p> <p>(2) メーカー更新推奨10年が経過した消防デジタル無線について、令和7年度更新予定市を除いた指令システム構成市と共同での更新整備を検討します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和8年度(2026年度)にエリアシミュレーション、無線伝播調査を実施 大阪府五月山無線中継所の活用や消防指令システムの間接整備の時期に合わせることで費用削減を図る。 <p>(3) 消防問題検討委員会(部内PT)の運用開始</p> <ul style="list-style-type: none"> 高齢化の進展等による救急需要の大幅な増加への対策等、今後の消防体制のあり方や変革への取組みについて検討を進めます。 	【今年度末に記載】	【今年度末に記載】
	<p>総合計画</p> <p>2-3- (2) 消防体制を充実強化します</p>		
	<p>基本政策</p> <p>23 消防救急体制の強化</p>		

4. 中期目標(概ね今後4年間)

No	取組み事項及び取組みにあたっての課題・めざす成果など	スケジュール(工程)
1	<p>ジュニア救命サポーター事業の全小学校での実施</p> <p>(1) ジュニア救命サポーター事業について、毎年市内全小学校(私立小学校含む。)での実施をめざします。これにより、こどもの頃から命の大切さを学ぶとともに、救命手当の必要性を根付かせ救命力の一層の向上を図ります。</p>	<p>(1) 教育委員会や小学校との調整などによる、ジュニア救命サポーター事業の継続的な実施 令和4年(2022年)～</p>
	総合計画	
	2-3- (1) 救急救命体制および防火安全対策を強化します	
	基本政策	
	23 消防救急体制の強化	
2	<p>近隣市町との消防広域連携の推進</p> <p>(1) 近隣市町と相互の消防力の強化を図り、住民の安心・安全が向上するよう、消防広域連携を推進します。</p>	<p>(1) 効率的に消防資源を運用するための消防広域連携の検討 令和4年(2022年)～</p> <p>(2) 豊中市、吹田市、池田市、箕面市、摂津市消防指令業務共同運用開始 令和6年(2024年)4月</p>
	総合計画	
	2-3- (2) 消防体制を充実強化します	
	基本政策	
	23 消防救急体制の強化	

No	取組み事項及び取組みにあたっての課題・めざす成果など	スケジュール(工程)
3	市民・事業者との協働の取組みの推進 (1) 女性防火クラブ・自主防災組織・消防防災協力事業所の育成支援など、市民・事業者との協働に関する取組みを推進し、南海トラフ巨大地震など大規模災害発生時における豊中市の自主救護能力を高めます。	(1) 自主救護能力の向上を図る取組みの強化 令和4年(2022年)～ (2) 女性防火クラブや自主防災組織、消防防災協力事業所等の育成支援 令和4年(2022年)～
	総合計画	
	2-3- (1) 救急救命体制および防火安全対策を強化します	
	基本政策	
22 地域防災力の向上		
4	災害対応力の強化 (1) 地震やテロ災害等の大規模災害、増大する救急需要、感染症等への対応力を強化するため、人員体制の効率化を図りつつ、救急救命体制の増強を図るほか、人材育成に関する取組み及び消防施設、消防車両等の防災基盤の計画的な整備を進めます。	(1) 人材育成に関する取組みの推進 (2) 救急救命体制の強化を推進 (3) 消防拠点再整備に係る課題の検討 (4) 消防車両等の計画的な更新整備 (5) 大池分団屯所の建替事業(令和8年度(2026年度)中運用開始予定)
	総合計画	
	2-3- (2) 消防体制を充実強化します	
	基本政策	
23 消防救急体制の強化		